



■ 県民協働による森づくりプロジェクト「企業の森」

(岐阜県・御嵩町・国土緑化推進機構と協定を締結)

近年、地球温暖化などの環境問題への社会的関心が高まるなか、森林の有する山地災害防止や水源かん養あるいは二酸化炭素の吸収源などの機能が強く評価され、これらの公益的機能の向上に貢献することができる「森林づくり」に参加する企業が増えてきています。こうした社会貢献活動は一般に「企業の森」と言われています。

岐阜県では岐阜県森林づくり基本計画で掲げる「県民協働による森林づくりプロジェクト」のひとつに「企業との協働による森林づくりの推進」を位置づけ、市町村と連携しながら、企業の皆さんが森林づくりに参加しやすい環境整備を平成19年4月からスタートし、現在では、県内19社、うち御嵩町においても2社がこの趣旨にご賛同をいただき活動を展開していただいております。

このコーナーでは、アサヒビール㈱さんの活動の一部をご紹介します。



平成21年6月10日協定締結

森の名称	アサヒビール木曽川水源の森・みたけ
場 所	可児郡御嵩町御嵩字北山 町有林 (5.0ha)
協 定 日	平成21年6月10日(水)
協定期間	平成21年6月10日(協定締結日) ～平成31年3月31日(協定更新済)

アサヒビール木曽川水源の森・みたけ



■ 企業との協働による森づくり活動 5月21日(土)



- アサヒビール㈱名古屋工場の社員の皆さんと、岐阜県、御嵩町、地元で活動する水土里隊、約60名が参加。
- ◆ 作業内容は森林の除間伐と道づくり。
 - ◆ 道づくり班は、以前に整備した作業歩道を補修・補強。アサヒビール㈱の社員は若い方々がカケヤや鋤を使いながらどんどん道を補修。
 - ◆ 森林の除伐班は、手鋸と剪定鋏を持って、萌芽した株の間引きを行いながら、切った枝を細かくして林内に集積しました。
 - ◆ 初参加の社員も終わるころには慣れた手つきに。 林内が明るくなり、気持ちの良い空間に変身しました。